

有秋中だより

平成30年4月27日 第1号
 発行責任者 有秋中学校長 地引 等
 電話 66-1066

平成30年度 有秋中学校 学校教育目標

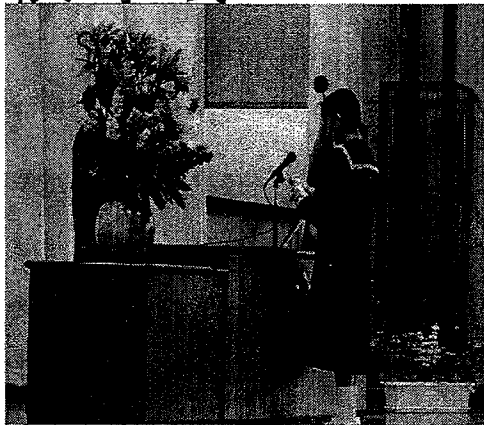
～「未来へつなぐ いちはらの教育」を目指して～

学校教育目標	豊かな感性を持ち、たくましく 心優しい生徒の育成
求める生徒像	1. 人の痛みのわかる生徒に 2. たくましい心と身体を持つ生徒に 3. 自ら学ぶ意欲を持つ生徒に

有秋中学校 在籍数

学年	男子	女子	計	学級数
1年	58	45	103	3学級
2年	59	47	106	3学級
3年	50	50	100	3学級
コスモス1	1	3	4	1学級
コスモス2	2	0	2	1学級
合計	170	145	315	11学級

入学式 4月9日(月)



新入生代表誓いの言葉

入学おめでとうございます



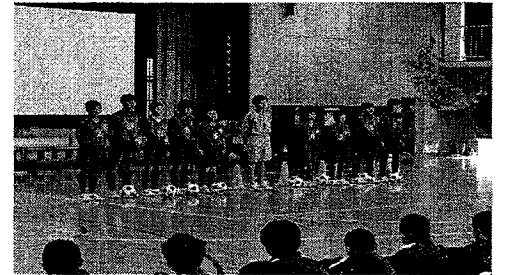
はじめての学級活動

すばらしい好天に恵まれ第41回入学式が4月9日に行われました。新入生103名が伝統ある有秋中の生徒の仲間入りをしました。校長式辞の中で新入生に心がけてほしいこととして、「挨拶を大事にしよう」「目標をもって努力しよう」そして「人の痛みのわかる思いやりの心をもとう」と伝えました。また、保護者の皆様に対して、子どもの幸せは親の幸せ、親と子の幸せは教師の幸せと考え、子ども、親、教師が共に幸せを感じる学校作りを目指していく決意を話させていただきました。そして「子どもは、地域の宝であり、財産であること」を、改めて確認しました。新入生を含めた子ども達を地域全体で育てていけるよう、今後ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

新入生歓迎会

4月11日(火)

生徒会を中心に新入生歓迎の気持ちを込めて、歓迎会を開きました。生徒会や専門委員会の様子が劇で紹介され、その後、文化部や運動部が趣向を凝らして自分たちの部活動の様子を披露しました。また、2・3学年は、伝統の合唱を思いの丈を込めて精一杯表現しました。



部活動紹介の様子

新入生の声

- ・すてきな歓迎会をありがとうございました。これからもよろしくお願いします。
- ・歓迎会を開いてくれたおかげで、不安が減りました。
- ・合唱に感動しました。歌声がとてもきれいでした。私もせいっぱいがんばります。
- ・委員会や部活のことがよくわかり、部活の紹介の時は笑いが絶えませんでした。
- ・吹奏楽部のみなさんが、演奏で迎えてくれたことがとてもうれしかったです。

有秋中生徒の活躍

☆市民大会について(4/27現在)

サッカー・野球・男女テニス団体・男女卓球団体については、健闘の末惜敗でした。1年生の新入部もあり、次の大会に向けて、今回の経験を生かせるよう練習を始めています。これから試合のある部活の健闘を期待します。

☆その他の大会・コンクールの結果

吹奏楽個人コンクール県大会 打楽器 吉田七穂・・・金賞 3/27
 吹奏楽個人コンクール県大会 トランペット 佐藤櫻子・・・優良賞 3/27

教職員年度末人事異動

【転出職員】

伊藤 究 教頭 (市原市教育委員会へ)
 長谷川ななこ 教諭 (茂原市立茂原中へ)
 八木翔平 教諭 (八幡中へ)
 深谷平佑 教諭 (五井中へ)
 野村若菜 講師 (ご退職)
 池田裕美 養護教諭 (ご退職)
 山田いずみ SCA (市原市家庭児童相談所へ)
 小倉淳子 学級補助員 (光風台小へ)

【転入職員】

植村 隆 教頭 (牛久小から)
 芝崎 徹 教諭 (辰巳台中から)
 小池真弓美 教諭 (八幡中から)
 宮坂祐司 教諭 (三和中から)
 石橋 淳 教諭 (ちはら台桜小から)
 八野哲榛 講師 (新規採用)
 長谷川詩織 養護教諭 (五井中から)
 小又麻依 SCA (新規採用)

★ 長い間ありがとうございました。

☆ これからよろしくお願いいたします。

お知らせ

【30年度 後援会役員】

・顧問 時谷和孝 ・会長 矢城達郎 ・副会長 小野賀章 飛田光大 宮崎栄
 【30年度 PTA 役員】・会長 鈴木敬太 ・会長補佐 渡辺貴明 伊藤武

相談室から

スクールカウンセラー 生川由里子 (月曜日)
 SCアシスタント 小又麻依 (月・火・水) 直通電話66-0258

平成30年度 有秋中学校 教育基本計画

学校・園教育の3目標

- 1 確かな学びの推進
- 2 感性豊かな子の育成
- 3 たくましい子の育成

有秋中憲章

個性や表現尊重
思いやりの心
自主的思考・判断
奉仕の心

市原市いじめ「ゼロ」宣言

- 1 私たちは「正義の心」を大切にします。
- 2 私たちは「素直な心」を大切にします。
- 3 私たちは「優しい心」を大切にします。

市原市教育大綱

未来へつなく いちはらの教育

—市原力を活用し、子ども一人一人の資質と能力を最大限に伸ばす教育の推進—

有秋挑戦2018 (本年度重点への挑戦)

めざす学校像

- ・明るく楽しい学校に
- ・規律と活力のある学校に
- ・安全安心な学校に
- ・家庭や地域の信頼に応える学校に

学校教育目標

豊かな感性を持ち、たくましく
心優しい生徒の育成

基本目標

1. 9カ年の教育を見通し、明るく楽しい誇りの持てる学校づくりに努める。
2. 規律があり、生き生きとした活力ある学びの場をめざす。
3. たくましい身体づくりと心優しい生徒の育成をめざす。
4. 安全で安心して生活できる学校づくりに努める。
5. 保護者や地域と連携し、信頼される学校づくりを進める。

本年度の重点

1. 生徒理解に努め、全教育活動において心を育てる視点を重視する。
 - ・挨拶、清掃の推進
 - ・学級での良好な人間関係づくり
 - ・道徳教育の推進
 - ・良き伝統(上級生が手本となる)の継承
2. 授業力の向上を図るとともに、基礎学力向上の取り組みを充実させる。
 - ・教科部会の充実
 - ・校内研修の推進
 - ・Y検や家庭学習の粘り強い指導と支援
3. 命を大切にし、いじめのない学校づくりを推進する。
 - ・交通安全指導の推進
 - ・地域防災教育の推進
 - ・「学校いじめ防止基本計画」にそった確実な実践
4. 支援を要する生徒への指導體制づくりを推進する。
 - ・教育相談部会の活性化
 - ・適応指導教室の効果的活用
 - ・関係機関やSC、SCA、SSWとの連携
5. 地域と連携し、社会性の向上を図る体験や交流を推進する。
 - ・地域行事への参加推進
 - ・ボランティア活動の推進
 - ・地域土砂災害避難訓練
 - ・体験重視のキャリア教育推進

重点目標1への挑戦

- 「あいさつがしっかりできる」「清掃にしっかり取組める」生徒の割合が95%をこえることをめざす。
- 生徒理解に努め、学校生活の基盤となる学級での良好な人間関係をめざす。
- 「正義の心・素直な心・優しい心」を大切に行動がとれる生徒の割合が90%をこえることをめざす。
- 生徒会の主体的な活動を充実し、上級生が手本となる伝統を継承しながら、よりよい学校づくりの意識と誇りを高める。

重点目標2への挑戦

- 週1の教科部会を定例化し、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善に取り組む。
- 新指導要領移行期に対応した校内研修に取り組み、授業力の向上を図る。
- 独自の検定試験(Y検)を実施し、「Y検にしっかり取り組んでいる」という生徒の割合が95%をこえることをめざす。
- 「家庭学習にしっかり取り組んでいる」生徒が85%をこえることをめざす。

重点目標3への挑戦

- 登下校時をはじめとした交通安全指導の充実を図る。
- 土砂災害時対応マニュアルの作成と周知を図り、避難行動がとれるようにする。
- 毎月のいじめアンケート調査による早期発見と、早期対応により「いじめ解消率100%」をめざす。
- いじめゼロに向け、生徒会を中心とした主体的な取り組みの充実を図る。

重点目標4への挑戦

- 支援を要する生徒に対する効果的な指導體制を構築する。
- 保護者や関係機関との連携を図り、長欠・不登校生徒の減少(昨年度比)に努める。
- 校内適応指導教室などの居場所づくりに努める。

重点目標5への挑戦

- 生徒の地域行事への積極的参加と交流を図る。
- ボランティア参加率が70%を超えることをめざす。
- 地域と連携した訓練の場を通して、災害時に自助・共助の行動がとれる生徒の育成する。

求める教職員像

- ・支え合い、チームワークのよい教職員に
- ・認めて褒めて、厳しさをもつ教職員に
- ・危機を察知し、回避できる教職員に

指導支援



学び信頼

求める生徒像

- ・人の痛みのわかる生徒に
- ・たくましい心と身体を持つ生徒に
- ・自ら学ぶ意欲を持つ生徒に

地域

ネットワークを生かし、幅広い支援活動を行う地域

子どもたちを優しく温かく見守ってくれる地域

家庭

PTA活動を中心として、学校と共に歩み、学校支援の核となる家庭

学校支援ボランティアの中核となり、積極的に参加する家庭

○明るい家庭・明るい地域

・家族仲良く明るい家庭やあいさつのある地域に

○子どもをよく理解し、励ます家庭や地域

・教育力のある家庭や地域に

○自立した子育てのできる家庭や、安全で安心できる地域

・家庭の一員として責任と自覚を持たせる家庭や温かく見守る地域に

○学校と連携し、協調する家庭や地域

・学校を理解し連携協調する家庭や地域に

PTA・学校評議員・後援会・学校支援ボランティア